

第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

応募者に関する情報

記入日：平成 24 年 11 月 30 日

| 応募者情報 | |
|--|--|
| 応募 団体名 | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 15%;">(フリガナ)</div> <div> イッパンザイダンハウジン カンキョウユウリョウシャフキュウキコウ 一般財団法人環境優良車普及機構 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 15%;">(団体名)</div> <div> 一般財団法人環境優良車普及機構 </div> </div> |
| 応募 担当者 連絡先 | <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="width: 15%;">団体名：</div> <div>一般財団法人環境優良車普及機構</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="width: 15%;">所在地：</div> <div>〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14-8 YPC ビル</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="width: 15%;">部署名：</div> <div>調査研究部 企画室</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="width: 15%;">役職名：</div> <div>企画室長</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="width: 15%;">氏名：</div> <div>植木 繁</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="width: 30%;">TEL：</div> <div>03-3359-9008</div> <div style="width: 30%;">FAX：</div> <div>03-3353-5431</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="width: 15%;">E-Mail：</div> <div>s-ueki@levo.or.jp</div> </div> |
| ホームページ | http://www.levo.or.jp |
| <p>応募団体の主たる事業（※行政の場合は、記入は不要。最大 2000 字入力できます。詳細は別紙添付可）</p> <p>環境優良車*並びに環境保全・省エネルギー・交通の安全等に資する機器及び用品等（以下「環境優良車等」という）に関する調査研究、啓発活動その他の環境優良車等の普及のための環境整備、自動車運送事業者等を対象とした環境優良車等の普及促進及びそのための支援、自動車運送事業用自動車の環境保全、省エネルギー、交通の安全等に資する使い方その他の運行の管理に関する調査研究、普及促進及びそのための支援等を行うことにより、自動車公害の軽減・防止及び交通の安全を図るとともに、エネルギー消費の効率化、地球環境の保全等に寄与し、もって人と環境に優しい車社会の形成及び公共の福祉の増進に資することを目的としています。このため、以下の事業を実施しています。*注) 環境優良車（排出ガスがクリーンで、省エネ、地球温暖化防止等に貢献する自動車）</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境優良車等の普及に関する調査研究 環境優良車等の普及に関する情報提供及び啓発活動 環境優良車等の普及に関する国際協力 自動車運送事業者等に対する環境優良車等の貸し出し 自動車運送事業者等による環境優良車等の借り受け又は購入に対する支援 自動車運送事業者等が利用する燃料等供給施設の整備及び貸し出し 環境優良車等の使用者、整備実施者等に対する講習会及び研修会の実施 環境優良車等の使用者及び使用希望者に対する情報提供 性状が異なる燃料を使用した場合の自動車運送事業用自動車の環境性能に関する調査研究 自動車運送事業用自動車の環境保全、省エネルギー、交通の安全等に資する使い方その他の運行の管理に関する調査研究並びに情報提供その他の普及促進及びそのための支援 その他この法人の目的を達成するために必要な事業 | |

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_data_list.html

1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

カーボン・オフセット付CNG車リース事業 （認証番号：4CJ-1000038、4CJ-1100074）

2. カーボン・オフセット活動の概要

<カーボン・オフセットの分類>

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

<カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

3①-1に記載した算定範囲と同じ

リース期間中にある圧縮天然ガス自動車(CNG車)の燃料使用に伴うCO2排出量

<カーボン・オフセットの取組の実施期間>

2010年4月以降実施、現在も継続中

<カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

自社HP（下記URL参照）で、カーボン・オフセットの取組を掲載

<http://www.levo.or.jp/offset/>

3. 1次審査項目

①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

①-3 利用者に帰属する排出対象活動

1. 「4CJ-1000038」

当財団と運送事業者のリース契約（以下リース契約）により提供する CNG 車（平成 22 年度新規リース契約車（234 台））がリース期間中の平成 23 年 2 月 1 日～平成 24 年 1 月 31 日の間に燃料使用に伴い排出する CO₂ の 50%をカーボン・オフセットする。

総計 1,064 トン 日本政府の管理口座へ移転時に顧客に提示

2. 「4CJ-1100074」

リース契約により提供する CNG 車（平成 23 年度新規リース契約車および平成 22 年度リース契約のうち希望車（計 197 台））がリース期間中の平成 24 年 2 月 1 日～平成 25 年 1 月 31 日の間に燃料使用に伴い排出する CO₂ の 50%をカーボン・オフセットする。

総計 937 トン 日本政府の管理口座へ移転時に顧客に提示

3. その他

平成 21 年度以前に当機構とリース契約された CNG 車のうち希望のあった車両（225 台）に対して、CO₂ 排出量 500 トンの CER クレジットを調達し、平成 24 年 1 月 18 日に日本政府の管理口座へ移転した。

総計 500 トン 日本政府の管理口座へ移転時に顧客に提示

①-4 利用者に対する排出量の提示方法

カーボン・オフセット付 CNG 車であることを表すため、車体貼付用の「カーボン・オフセット認証ラベル付ステッカー」、「カーボン・オフセット実績車両明示ステッカー」及び「カーボン・オフセット証明書」を配布

②排出削減努力の実施

- 節電 節水 廃棄物の減量化 省電力機器の導入 公共交通機関の利用・呼びかけ
 その他（具体的に

・運送事業者に対しエコドライブによる CO₂ 削減を推奨

エコドライブ管理システム（EMS）機器リースによる運送事業者に対する省エネルギー事業を推進
省エネ効果（自動車の燃費改善効果）；7.9%（H21 年度事例：CO₂ 排出量削減 7.9%に相当）

（平成 17 年度から平成 22 年度の 6 年間で 96 千台の EMS 機器を普及した。その間、運送事業者の燃費改善により CO₂ 排出量 41.7 万トン（推定計算値）を削減）

・CNG 車普及による CO₂ 排出量削減（CNG 車は対ディーゼル比で CO₂ 排出量 2 割程度削減）

・運送事業者等における自動車の使用実態に合ったきめ細かいエコドライブを提案する『エコドライブ総合診断事業』を実施。また、EMS 普及促進策として、EMS 普及説明会を全国各地で適宜開催（H23 年度実績 10 箇所）し、エコドライブの必要性、燃費改善状況を説明し、エコドライブの推進を後押し。

③オフセットの手続き

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

京都クレジット CER

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

1. 「4CJ-1000038」

Bundled Wind Power Project in Tamil Nadu, co-ordinated by the Tamil Nadu Spinning Mills Association (TASMA)

2. 「4CJ-1100074」

Bundled Wind Power Project in Tamil Nadu, co-ordinated by the Tamil Nadu Spinning Mills Association (TASMA)

及び NSL 27.65 MW Wind Power Project in Karnataka, India

3. その他

56.25MW bundled wind energy project in Tirunelveli and Coimbatore districts in Tamil Nadu, India

<カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

償却実施年月は以下の通り

1. 「4CJ-1000038」 償却実施年月 2011 年 6 月 09 日

2. 「4CJ-1100074」 償却実施年月 2012 年 5 月 29 日

3. その他 償却実施年月 2012 年 1 月 18 日

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第 1 回カーボン・オフセット大賞の 1 次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_data_list.html

1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

国内における圧縮天然ガス自動車（CNG車）普及台数は平成 22 年 9 月末時点で 39,623 台となり、そのうち貨物自動車（普通車）は 17,720 台に達しましたが、CNG車はまだ国内の登録貨物自動車のわずか 0.77%（普通車比）で、その普及は緒についたばかりという状況である。（一財）環境優良車普及機構（LEVO）は、大気汚染の防止、二酸化炭素（CO2）排出量削減など環境問題の更なる改善を図っていくために、環境優良車としての CNG車のより一層の普及促進を図っていく必要があると考えているところであり、このため平成 22 年度より新たにリース契約した CNG車を対象に、1 年間に排出する CO2 量の 50%削減に貢献するカーボン・オフセットを付加することにより LEVO の CNG車リース事業が地球環境問題にも貢献するものであることを内外にアピールしている。

◎ CO2 排出削減努力の項目（内容）について、期待した効果

オフセット付き CNG車の普及により運送事業者の CO2 削減の意識向上、荷主事業者の CO2 削減の意識向上、ひいては環境優良車である CNG車の更なる普及

◎ 成果

運送事業者、荷主事業者さらに一般の方々にカーボン・オフセットによる環境保全への貢献に対する理解が深まった。

本カーボン・オフセットを実施した平成 22 及び 23 年度に LEVO の新規 CNG車リース台数は、合計 431 台の増加となった。

◎ 関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果

本カーボン・オフセットの仕組みに関する啓発パンフレットを作成し、CO2 排出削減努力の必要性・重要性を訴求した。

活動内容を LEVO 機関誌（ニュース LEVO）に掲載するとともに、新聞系のメディアへの PR を行い、その結果、3 社の新聞に取り上げられた。

また、平成 23 年度には、物流団体連合会から、物流部門における環境保全の推進や環境意識の高揚等を図り、物流の健全な発展に貢献された団体として、物流環境啓蒙賞を受賞し、物流事業者から評価されると同時に、メディア等にも取り上げられ、カーボン・オフセットの取り組みの重要性が一般の方々への PR につながった。

2. カーボン・オフセットの内容

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについて

・カーボン・オフセットの取組の意義・重要性

自動車が行くためには燃料の使用により必然的に温室効果ガスが発生するため、その排出削減のため、運送事業者には、エコドライブ等を推奨するなどエネルギーの使用を効率的に行う取り組みが必要不可欠となっている。

運送事業者が行う省エネ活動の取り組みの一つとして、当機構は、運送事業者等の自動車の使用実態に合ったきめ細かいエコドライブを提案する『エコドライブ総合診断』を実施し、あるいは、EMS（エコドライブ管理システム）普及促進として、EMS 普及説明会を適宜開催し、エコドライブの必要性、燃費改善の取り組みの必要性を説明している。

しかし、様々な取り組みによっても、それでも排出される温室効果ガスの削減のため、当機構はディーゼル車より温室効果ガス排出量の少ない CNG 車の普及を促進し、さらにそれでも削減できない CNG 車の燃料使用に伴い発生する CO₂ をオフセットすることにより、一層 CO₂ 排出量削減の取り組みを実践している。

この「CO₂ 排出量の少ない自動車」と「カーボン・オフセット」の組み合わせにより大幅な CO₂ 削減を図る手法を運送事業者や一般の方々に PR することは、環境優良車のさらなる普及ひいては自動車に起因する環境問題改善に向けて、その意義は大きい。

・波及効果

カーボン・オフセットを行った車が路上を走行ことでその車は走る広告媒体となる。オフセットを行った CNG 車により、荷主や一般の方の関心を高めることができる。

荷主は、低炭素物流（荷物を運ぶのに発生する CO₂ 量が少ない物流）に向けて、モーダルシフト（鉄道への物流のシフト）や CO₂ 排出量の少ない物流手段への関心が高まっている。カーボン・オフセットを実施した自動車を提供することで、CO₂ 排出量の少ない物流に対する荷主の関心が高まるとともに、そのような自動車を使用する運送事業者への社会的評価が高まる。

・取組の継続性

CO₂ 削減を図るため、運送事業者は、エコドライブ等を実施し自ら CO₂ 削減の努力を行なっているが、このカーボン・オフセット事業により、新たな CO₂ 削減の手法を提案することができた。今後ともカーボン・オフセットの仕組みについて理解が深まるよう運送事業者、荷主、一般の方々への PR に努め、さらにカーボン・オフセット CNG 車の普及台数が増えるよう事業を継続したいと考えている。

3. 環境・地域・社会、産業振興等の貢献性

- ③自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献について

貨物自動車の燃料は、ほぼ 100%を軽油に依存している。このため、CNG 車が普及し、天然ガスの利用を促進することは、軽油への依存度を緩和し、安定的なエネルギー供給・確保につながるためエネルギーセキュリティーの面で貢献する。

また、自動車はその燃料使用により、必然的に温室効果ガスが発生する。また、特にディーゼル車からの NO_x や PM 等の大気汚染物質削減に向けた取り組みが行われている。このため、ディーゼル車より温室効果ガス排出量が少なく、また NO_x や PM の排出量も少ない CNG 車が普及することで、環境に調和した車社会の構築に向けて大きく貢献するといえる。

- ④自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献について

クレジットの選定にあたっては、開発途上国で創出されたクレジットを用いることとし、当該国や地域の生活の質向上や雇用の創出などに結びつき、環境貢献をしながら国際援助にも貢献する事ができる。

4. 普及啓発の創意工夫とその成果

カーボン・オフセットの取組を第三者である市民に伝えるため、多くのイベントに積極的に参加した。
(平成 23 年度事例)

- ・「第 7 回みんなで学ぼうトラックと交通安全・環境フェア (H23. 9. 18 名古屋市)
- ・「ひろしまバスまつり」(H23. 9. 19 広島市)
- ・「ECO ガレージセール・イン・大阪タウン」(H23. 10. 8 大阪市)
- ・「ふれあいトラックフェスタ 2011」(H23. 10. 16 吹田市)
- ・「2011 東京トラックショー」(H23. 10. 27~29 東京都)
- ・「京都環境フェスティバル 2011」(H23. 12. 10、11 京都市)

2011 年「第 35 回地球環境とエネルギーの調和展」ENEX2011 (H23. 2. 8~10 東京ビッグサイト) においては、来場者に対しカーボン・オフセットの認知度を調査するアンケートを行ったところ、「知っている」とする回答は約半数あったが、「知らなかった」「聞いたことはある」といった回答も半数あり、カーボン・オフセットの取組をさらに広く PR する必要性を認識した。そのため、その後のイベントでは、さらにパネル展示やパンフレットを配布する等によって、カーボン・オフセットの仕組みやこの事業についてより理解を深められる取り組みを実施した。

5. ストーリー性

貨物自動車運送事業者にとって自動車の使用による温室効果ガスの排出は、どうしても減らせないものの一つである。当機構は、運送事業者等を対象に、環境優良車の導入支援、エコドライブ管理システムの活用支援、エコドライブ総合診断事業を通じ、貨物自動車運送事業者による環境改善の取り組みを支援している。

2010 年度より実施しているカーボン・オフセット付き CNG 車リース事業では、当初はほとんどの運送事業者は、この仕組みについてご存じなかった。この事業を実施することで、運送事業者自らが、CNG 車を利用することによりまず自ら CO2 削減をする努力が必要であることを認識していただくことができた。さらに、カーボン・オフセットによって、低炭素社会の実現に、大きく貢献することが可能であることを理解していただいた。

低炭素社会の実現するためには、まず、CO2 削減の努力をすること、それでも削減できない部分をカーボン・オフセットによって低減することが有効であるという意識改革を進めることが重要であると考えている。

今後も、一般市民レベルの低公害車フェア、展示会などに参加するとともに、多くの運送事業者の方々にカーボン・オフセット付 CNG 車の意義をご理解いただき、それらの自動車をお使いいただくことで温暖化対策に取り組んでいきたい。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDF の場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を (JPEG 等) お送りください。

第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局
(担当：入山、井上)

〒東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7 階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail award@carbonoffset-network.jp